

# 令和6年度使用小学校教科用図書選定に関する報告

第十三地区教科用図書採択協議会

令和6年度に使用する小学校教科用図書を、公正かつ適正に選定するため、調査研究報告や学校意見等を検討しながら、選定作業を完了しました。

選定の経過、選定結果及び選定の理由、選定に係る委員は下記のとおりです。

## 1 選定の経過

部会名等	期 日	場 所	内 容
第1回 採択協議会	4月17日(月)	京築教育事務所	○採択日程(案)の審議・承認 ○予算(案)の審議・承認 ○部会員等選出方法(案)の審議・承認
第2回 採択協議会	5月23日(火)	荇田町役場	○選定方針(案)の審議・承認 ○採択組織(案)の審議・承認
第3回 採択協議会	6月27日(火)	京築教育事務所	○調査研究協議会からの答申受理
委員等委嘱 選定委員会	7月5日(水)	行橋市中央公民館	○選定委員会委員委嘱 ○選定説明会
第1回 選定部会			○調査研究結果の説明 ○調査研究結果の検討、選定の内容や方向の決定等
第2回 選定部会	7月10日(月)	行橋市中央公民館他	○調査研究資料等の検討 ○学校意見の検討 ○答申案づくり
第3回 選定部会	7月20日(水)	行橋市中央公民館	○答申案づくり
総括部会	7月25日(火)	行橋市役所	○選定結果の報告 ○答申内容の調整
第4回 採択協議会	7月31日(月)	行橋市役所	○答申受理 ○選定部会より報告
採択協議会 役員会議	7月31日(月)	行橋市役所	○答申内容の審議、1種選定

## 2 選定結果及び選定理由

教科書 教科	発行者		書名
	番号	略称	
国語	38	光村	国語
書写	38	光村	書写
社会	17	教出	小学社会
地図	2	東書	新編 新しい地図帳
算数	61	啓林館	わくわく算数
理科	4	大日本	新版 たのしい理科
生活	2	東書	どきどき わくわく 新編 あたらしい せいかつ あしたへ ジャンプ 新編 新しい 生活
音楽	17	教出	小学音楽 音楽のおくりもの
図画工作	9	開隆堂	図画工作
家庭	9	開隆堂	わたしたちの家庭科
保健	2	東書	新編 新しい保健
外国語 (英語)	9	開隆堂	Junior Sunshine
道徳	17	教出	小学道徳 はばたこう明日へ

### 選定理由（13種）

#### 国語

- 「読むこと」については、「とらえよう」→「ふかめよう」→「まとめよう」→「ひろげよう」という学習過程であり、「話すこと・聞くこと」「書くこと」についても学習の進め方が示され、学びが深められるようになっている。
- 各領域の単元の終末では、対話的な学びを通して自分の考えを広め深めることができるように、視点を明確にした対話活動が位置付けられている。
- 児童の発達段階に即して、児童の身近なこと、興味・関心をもてることを様々な分野から話題や題材として選定されている。

#### 書写

- 児童が必然性をもって学習できるように日常生活とのつながりを実感できる学習活動を設定している。国語や他教科、日常生活場面とのつながりのある学習が充実するように配慮されている。
- 「考えよう」→「確かめよう（毛筆）」→「生かそう（硬筆）」という学習展開となっており、毛筆を扱う際には、教材文字と同じ要素をもつ硬筆課題を教材に設け、毛筆で学習したことが硬筆に生きるように工夫されている。

## 社会

- 社会的な見方・考え方を説明するページが各学年に位置付けられている。
- 4年「県の地図を広げて」の単元で福岡県の地理的環境について、「わたしたちの県のまちづくり」の単元で、福岡県東峰村の小石原焼と太宰府市が取り上げられている。また、5年「自動車の生産にはげむ人々」の単元では苅田町日産工場などが取り上げられており、子ども達に身近な福岡県の内容が数多く取り上げられている。
- 6年「わたしたちの暮らしを支える政治」の単元では、単元末に学びを生かして、自分が住むまちの政治について学級で考え「子ども議会」を行う活動が設定され、政治への参加と投票率について考察する内容になっている。

## 地図

- QRコンテンツを利用し、白地図に自分たちの住む都道府県の学習をまとめることができる。事例地を地図帳で確認することに加え、ドローン動画を見ることで紙面では捉えにくい地形の広がりや土地利用の様子について理解しやすくなっている。
- 日本の歴史年表とそれぞれの時代の国名を示した地図が並べて提示されており、それらを基に世界の中の日本を考えることができる。また、写真資料が鮮明であり、視認しやすい。

## 算数

- QRコンテンツが豊富で、一人ひとりの学びをサポート出来るようになっている。学習指導要領の範囲外などの発展的な内容については「発展」のマークを付し、児童の興味関心に応じて学習が進められるようになっている。
- 学年によって、特に習得や活用が困難と思われる児童が躓きやすい内容では、単元を分割して配置し、定着が確実に測れるように配慮されている。
- 一人一台端末を有効に活用しながら、自分や友達との対話による協働的な学びや個別最適な学びが実現できるように工夫されている。また、全学年に「わくわくプログラミング」の単元を設け、理論的な思考が身につくようにしている。

## 理科

- 教科書全体を通して、主体的に問題解決活動を行うことで、思考力、判断力、表現力等が育成されるように配慮されている。
- 単元末や巻末には、単元末問題や全国学力・チャレンジ問題があり、「知識及び技能」の定着やその単元で定着した「知識及び技能」の活用する力を一体的に育てることができるようになっている。
- 単元毎に、コンピュータを適切に活用することができるようにウェブコンテンツが多数用意されている。

## 生活

- 社会に開かれた教育課程の実現に向けて、季節単元では、自然だけでなく、公共施設や町の様子が例示されている。定点から町の様子を描写することで、季節の変化による町や人の様子の変化を視覚的に捉えさせ、気付きを促せるようにしている。
- 「個別最適な学び」の実現に向けて、児童の興味・関心・意欲を踏まえた支援ができるよう具体的な例示や資料を掲載している。「協働的な学び」の実現に向けて、活動から得た気付きを伝え合う姿や多様な他者と交流する姿を写真やイラストで例示している。
- 生活上必要な習慣や技能を学習活動の展開に即して身に付けるためのヒントや資料が「やくそく」や「かんどうべんりちょう」に掲載されている。

## 音楽

- わらべ歌や遊び歌、唱歌、各地の民謡、世界の民族音楽を取り上げた題材の中で、音楽と生活や社会の関わりに目を向けさせるようになっている。
- 鍵盤楽器、リコーダーの導入を特に丁寧に扱っている。中学年の器楽では、オルガンや箏などを学校の実態に応じて選択できるようになっている。高学年では、合奏においてそれぞれのパートを演奏する楽器を選択できるようになっている。
- 鑑賞については、曲想や音楽を形づくっている要素に特徴のある教材が取り上げられており、絵譜などを活用して聴くことで、音楽の構造や要素の関わりなどを感

じ取ることができる。

#### 図画工作

- 児童が、創造的に発想や構想ができるように、投げかけをすると同時に、「アイデアシート」をコンテンツとして利用できるようになっている。
- 全学年に、造形的な見方・考え方、発想力を身に付けていく短時間扱いの「ひらめきショートチャレンジ」が設定されている。
- 様々な表現方法や活動のヒント、多様な材料や児童作品などが示されており、個性を生かした活動になるよう工夫されている。

#### 家庭

- ガイダンスとして2年間の学習の流れが示され、他教科との関連や中学校とのつながりが示されており、教科横断的で系統的な指導ができる。中学校への接続ページがあり、中学校の内容がイメージしやすく、意欲を高めることができる。
- 各題材の「生かす・深める」のページでは、豊富な活動例や実習例が提供され、学んだことを生かせるようになっている。
- 調理及び布を用いた製作は、2学年にわたって平易なものから段階的に配列され、着実に知識・技能を身に付けることができる。

#### 体育（保健）

- 「スキル」の項目を適宜設定することで、技能を習得できるようになっている。
- 「深める・伝える」の学習過程を設定することで思考・判断・表現を促し、さらに他者に伝え合う力の育成に繋がるようになっている。「まとめ・生かす」の学習過程を設定することで、健康に関する前向きな実践行動を促すことができる。
- 具体的な事例、モデルを掲載することで、健康に関する課題を解決する学習活動ができるようになっている。

#### 外国語（英語）

- 全ユニットは小単元で構成されており、段階を追ってスパイラルに学べるよう、言語材料や言語活動が配列されている。
- 教科書巻末には、「CAN-DO チェック」があり、評価規準に照らし合わせた自己評価ができる。
- 海外の同世代の子どもたちが英語で自分のことを伝える映像や音声が豊富である。単元末の学習テーマに即した映像や、年間3回の「Our World」では、教科書の学習内容から発展させた異文化情報が掲載されている。

#### 特別の教科 道徳

- 道徳的価値について自己を見つめ、これからの生き方に生かしていくことを見通しながら、実現するための問題を見付け、どうしてそのような問題が生まれるのかを調べたり、他者の感じ方や考え方を確かめたりしながら課題解決へ向けて話し合うことができる内容になっている。
- 教科書の巻末に学習をふり返るシートがある。児童が自分の成長を感じることができるとともに、提出できる形式になっているので、評価資料としても活用できる。
- 考え、議論する道徳授業が実現できるように、授業の「展開」段階で活用できる発問を二つ（場面発問とテーマ発問）設けている。その時間のねらいとする道徳的価値に深く関わる中心的発問は、「特に考えてほしいこと」として目立たせている。

### 3 選定に係る委員

#### (1) 第十三地区採択協議会役員

会長 長尾 明 美

副会長 榊 口 広 二

監事 井 上 三津子

(2) 選定委員会総括部会

会 長	井 上 宜 江
副会長	安 部 里 絵
部会員	川 島 隆 明
部会員	和 才 輝 俊
部会員	山 本 則 行
部会員	青 本 寛
部会員	井 関 浩 久
部会員	馬 場 育 実
部会員	金 子 守 久
部会員	岡 真 由 美
部会員	山 本 有 一
部会員	寺 門 由 美
部会員	中 村 陽 子